

広島で日本と ASEAN の若者が「平和」をめぐり対話と共創 ～日 ASEAN 青少年平和交流・対話事業（AJ PAP2025）を初開催～



2024 年度 次世代共創パートナーシップ 文化の WA2.0 の様子

国際交流基金（JF）は、NPO 法人 Peace Culture Village（広島市西区）との共催により、戦後 80 年を機に、日本と ASEAN の学生が「平和」について語り合い、共に考える対話・交流プログラム「日 ASEAN 青少年平和交流・対話事業（ASEAN-Japan Peace Ambassador Project, AJ PAP2025）」を行います。本事業は、日 ASEAN の高校生が、多様な価値観のもとで他者と向き合い、共感と対話を通じて「次世代の平和」を構想することを目的としています。

プロジェクト初回の今年度は、2025 年 10 月 31 日（金）から 11 月 3 日（月）に、インドネシア、フィリピン、ベトナム、日本の高校生計 12 名が広島でのプログラムに参加します。

参加高校生は、専門家によるレクチャー・ワークショップ、平和記念資料館での学び、弥山・大聖院でのフィールドプログラムなどを通じ、参加者同士の対話を重ねながら平和の意味を多角的に探究します。また、世界中から広島に平和の象徴として贈られる折り鶴などをモチーフに取り組む共同アート制作では、言語や文化の違いを超えて「平和をかたちにする」経験を共有し、国境を越えた友情と信頼を育みます。

共催者の NPO 法人 Peace Culture Village は、被爆者の平均年齢が 85 歳を上回り、継承が難しくなっている「平和を語り継ぐ」活動を、若い世代の実践型学習として発展させ、持続可能なカタチで次世代の平和活動家の育成に取り組んでいる団体です。その活動が評価され、2022 年度国際交流基金地球市民賞を受賞しています。

このプロジェクトを通じて、日本と ASEAN の若者の間に長期的な人的ネットワークが形成され、参加者一人ひとりが「次世代の平和大使」としてそれぞれの地域で対話と協働の精神を広げてくれることを期待します。

本事業は、日本と ASEAN の次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー」の一環として、今後継続的、発展的な実施を目指しています。

なお、本事業は ASEAN 事務局協力事業と認定されています。

本プロジェクトについて、同行取材・参加者へのインタビューが可能です。

また、主催者ならびに参加高校生などへの取材も可能です。（日英の通訳を手配します。）

詳しくは、国際交流基金 ブランド推進部 広報課 press@jpf.go.jp までご連絡ください。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 （担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

記

事業名称：日 ASEAN 青少年平和交流・対話事業「ASEAN-Japan Peace Ambassador Project (AJ PAP) 2025」

主催：国際交流基金 (JF)

共催：NPO 法人 Peace Culture Village

協力：ASEAN 事務局

期間：2025 年 10 月 31 日 (金) ～11 月 3 日 (月)

参加者：高校生 12 名 (内訳：日本 3 名、インドネシア 3 名、フィリピン 3 名、ベトナム 3 名)

引率者 3 名 (内訳：インドネシア 1 名、フィリピン 1 名、ベトナム 1 名)

ASEAN 事務局 教育・ユース・スポーツ担当 職員 1 名

使用言語：英語

主な日程：

10 月 31 日 (金) 会場：国際交流基金 (JF) 東京本部

ASEAN 側参加者向けオリエンテーション

11 月 1 日 (土) 会場：平和記念公園、広島平和記念資料館

田中稔子氏 (壁面七宝作家 被爆者) の講演

広島と同世代の「ピースバディ」とともに平和記念公園内のモニュメントを巡りながら、共に考え、お互いに意見を出しあう対話型プログラム：PEACE DIALOGUE

過去から学び未来の平和に目を向けるワークショップ ファシリテーター：住岡健太 (Peace Culture Village)

11 月 2 日 (日) 会場：宮島 弥山、大聖院

平和の灯 (「消えずの火」) をテーマとした「内なる平和」に目を向けるプログラム

瞑想・座禅/写経体験・宿坊宿泊

11 月 3 日 (月・祝) 会場：広島市文化交流会館

平和の祈りの象徴「折り鶴」を用いたアート作品の共同制作

以上

「次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー」について

国際交流基金 (JF) は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

JF では 2024 年から 10 年間にわたって ASEAN を中心とするアジア諸国と、日本語教育、文化芸術、日本研究、国際対話の分野で、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー」を展開しています。



2024 年 ビデオレポート「始動」

“次世代共創パートナーシップ”ー文化の WA2.0ー
inspiring resonance 共鳴を、未来の息吹に。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課 (担当：福島、熊倉)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

日本語パートナーズ事業と双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ事業

アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。

◆双方向の知的・文化交流事業

相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

次世代共創パートナーシップー文化の WA2.0ー公式サイト <https://asiawa.jpf.go.jp/>では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。